

プログレス・  
テクノロジーズ  
グループ  
339A・100株  
3月28日  
東証グロース上場

## デジタルツイン事業が新たな成長の柱

大手製造業向けデジタルソリューション・デジタルエンジニアリングサービスを提供する。強みは、デジタル技術を活用して設計開発プロセスそのものを企画するとともに、デジタルツールの選定や実装、運用定着までを担うワンストップサービスの提供が可能な点である。

足元では人手不足や後継者不足などは社会問題として意識されており、事業内容へのイメージは悪くないだろう。公開規模は80億円前後と大きくなる見込み。

## ■IPOスケジュールと類似企業バリュエーション

日程	
仮条件提示	3月11日
ブックビルディング期間	3月12日～3月17日
公開価格決定	3月18日
申込期間	3月19日～3月25日
払込日	3月27日
上場日	3月28日

類似会社4社	
アルトナー<2163>	16.0倍(連)
CCT<4371>	11.2倍(連)
アルプス技研<4641>	13.7倍(連)
NSW<9739>	9.9倍(連)

(PERは3月7日終値の会社側予想ベース)

プログレス・  
テクノロジーズ  
グループ

339A・100株

3月28日

東証グロース上場

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常損失	伸び率	純損失	伸び率
2022/2	0	—	▲152	—	▲73	—
2023/2	0	—	▲100	—	▲76	—
2024/2	284	—	▲107	—	▲83	—
2025/2 推	—	—	—	—	—	—
2026/2 予	—	—	—	—	—	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上収益	伸び率	税引前利益	伸び率	当期利益	伸び率
2023/2	4,780	—	1,071	—	730	—
2024/2	5,116	7.0%	996	-7.0%	696	-4.7%
2025/2 推	5,625	9.9%	799	-19.8%	576	-17.2%
			(1,299)	(30.4%)	(933)	(34.1%)
2026/2 予	6,388	13.6%	1,518	90.0%	1,050	82.3%
				(16.9%)		(12.5%)
2024/11 3Q	4,228	—	1,015	—	734	—
予想EPS/配当	連結：134.97/—円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算					

## ■業績コメント

2026年2月期の業績は、売上収益が前期比13.6%増の63.8億円、税引前利益が同90.0%増の15.1億円と増収増益の見通しとなっている。

同社の連結子会社であるプログレス・テクノロジーズ(株)が東京地方裁判所にて訴訟を提起されていた知的財産に関する損害賠償請求事件については、2024年12月に和解が成立した。プログレス・テクノロジーズ(株)は原告に対して和解金5.0億円を支払っている。同社は和解金について、外部関係者に対して請求権を有しており、今後求償していく予定である。

訴訟関連費用の影響を取り除いた2025年2月期の調整後税引前利益は12.9億円(前期比30.4%増)、調整後当期利益は9.3億円(同34.1%増)となる。また、2026年2月期の税引前利益は前期調整後比16.9%増、当期利益は同12.5%増という計算になる。なお、本件に係る和解金の支払いは一時的なものであり、今後、追加的な費用の発生等は予定していない。また、今後、請求権に基づき、外部関係者からの支払いがあった場合には、支払われた全額が「その他の収益」として計上されることを予定している。

プログレス・  
テクノロジーズ  
グループ

339A・100株

3月28日

東証グロース上場

基本概要

所在地	東京都江東区青梅一丁目1番20号
代表者名 (生年月日)	代表取締役 中山 岳人 (昭和48年2月25日生)
設立	令和2年6月30日
資本金	1,000万円 (令和7年2月21日現在)
従業員数	新規上場会社23人 連結会社561人 (令和7年1月31日現在)
発行済株式数 (上場時)	7,779,400株 (予定)
公開株式数	公 募 707,200 株 売 出 3,100,000 株 (オーバーアロットメントによる売出571,000株)
想定公開規模	78.4億円~87.1億円 (O A含む)
事業内容	大手製造業向けデジタルソリューション・デジタルエンジニアリングサービスの提供

売上高構成比率 (2024/2期 実績)

品目	金額		比率	
ソリューション事業	2,556	百万円	50.0	%
デジタルツイン事業	90	百万円	1.8	%
エンジニアリング事業	2,468	百万円	48.2	%
合 計	5,116	百万円	100.0	%

幹事証券団 (予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定
幹事証券	アイザワ証券(株)	未定	未定
幹事証券	東海東京証券(株)	未定	未定
幹事証券	松井証券(株)	未定	未定
幹事証券	あかつき証券(株)	未定	未定

# プログレス・テクノロジーズグループ

339A・100株

3月28日

東証グロース上場

## その他情報

手取金の使途	(1)連結子会社であるプログレス・テクノロジーズ(株)への投融資資金、(2)借入金返済資金として充当する予定	
関係会社	プログレス・テクノロジーズ(株) (連結子会社) ソリューション事業・エンジニアリング事業 S&VL(株) (連結子会社) デジタルツイン事業	
VC売却可能分(推定)	-社 -株 (売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2020年9月15日
	割当先	ジャフコSV6-S投資事業有限責任組合
	発行価格	250円 ※株式分割を考慮済み

## 大株主上位10者とロックアップ

株主名	持株比率	ロックアップ
ジャフコSV6投資事業有限責任組合	76.02%	90日間
ジャフコSV6-S投資事業有限責任組合	19.01%	90日間
中山 岳人	3.37%	90日間
澤井 大輔	0.51%	90日間
長友 一郎	0.22%	90日間
子会社従業員	0.09%	継続保有
子会社従業員	0.07%	継続保有
村松 英行	0.05%	90日間
子会社従業員	0.05%	継続保有
子会社従業員	0.03%	継続保有

## ■ 銘柄紹介

2005年に設立されたプログレス・テクノロジーズ(株)が、2020年にジャフコグループの出資を受け入れるため持株会社体制になった際に同社は設立された。同社は、純粋持株会社として連結子会社2社(プログレス・テクノロジーズ(株)及びS&VL(株))に対して経営指導や経営管理業務の提供している。同社グループはメーカーがフォーカスすべき独自の製品開発技術領域を「コア技術」と定義し、それらの進化に必要となるデジタル特化技術である「ニアコア技術」に注力する形で、メーカーに様々なソリューションやサービスを提供している。

# プログレス・ テクノロジーズ グループ

339A・100株

3月28日

東証グロース上場

プログレス・テクノロジーズ(株)は、同社グループの主力事業会社であり、メーカーの設計開発現場の課題の把握からデジタルプロセスの検証、デジタル特化技術やツール・システムの選定、プロセスの整理・標準化、運用の定着支援まで、一連のソリューションをワンストップで提供している。S&VL(株)は、9軸アクチュエータを搭載した可動域・加速度・応答性の観点で高性能なドライビングシミュレータを活用したバーチャルテストの実施や物理現象を正確にシミュレートできる高度なモデル開発を用いたコンサルティング等のサービスを提供している。群馬県太田市に設立した技術研究所の立ち上げ以降、自動車OEMやTier1サプライヤーから多くの引き合いがある。

同社グループの展開するデジタルソリューション事業は、提供サービス形態別に3つに区分される。

## (1)ソリューション事業

コンサルティングサービスでは顧客の「設計のやり方を設計」する。PT DBS (Progress Technologies Design Basis Solution)という独自の метод論を用い、熟練コンサルタントの頭の中にある設計手順や知見をデータ化・システム化することで、顧客メーカーの設計力を強化している。デジタルエンジニアリングサービスでは最先端のツール導入から定着支援まで行う。プロジェクトサービスでは製品開発をプロジェクトチームとして引き受け、「技術課題」「リソース課題」の両側面から製品開発を支援する。

## (2)デジタルツイン事業

2023年2月期にプログレス・テクノロジーズ(株)が、現在のデジタルツイン事業となるシミュレーション&ソリューションサービスを開始した。最先端のデジタル技術を用いて、顧客の課題解決を行う。2024年2月期からはグループ会社であるS&VL(株)において、最先端の高性能ドライビングシミュレータを活用し、バーチャルテスト環境の提供からプラントモデルの開発・評価、開発プロセスの改革の提案までの一連のソリューションをワンストップで提供している。コスト削減やリードタイム短縮の観点から、走行試験の一部をバーチャルで行うことによる効率的な開発がヨーロッパを中心に広がっており、国内においてもこの流れが加速している。

## (3)エンジニアリング事業

設計開発の領域に特化して、開発リソースの提供と技術課題の解決を実現する。同社グループのエンジニアリングサービスは、メカ・エレキ・ソフトの各設計分野において、顧客のプロジェクトの一員として設計・開発業務を支援する。

## 免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

## ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp